

【演劇プログラム】

ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム KIPPU

PANCETTA LAB 2024 IN KYOTO

Phase 1: CREATION 1月5日～1月29日

Phase 2: PERFORMANCE 2月1日～2月4日

京都にて開催

**PANCETTA初の京都公演。京都にてゼロからの創作。
1ヶ月の滞在制作を経て作品を上演。京都だからこそ生まれる作品を。**

2024年2月、PANCETTA初の京都公演「PANCETTA LAB 2024 IN KYOTO」が決定。

ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム「KIPPU」の企画として、京都芸術センターに1ヶ月間滞在して作品創作を行い、ロームシアター京都ノースホールにて『PANCETTA LAB 2024 IN KYOTO』を上演する。

今作の出演者は PANCETTA おなじみの佐藤竜、新行内啓太、主宰の一宮周平に加え、京都にて開催されたオーディションで選ばれた若手俳優の宇津木千穂、角谷良、林真子を迎える。

また PANCETTA 作品のオリジナル曲をすべて作曲している加藤亜祐美と 2022 年の LAB 企画でパーカッショニストとして出演した小田桐陽一もクリエイションメンバーとして参加、本番公演でも生演奏を披露する。

京都滞在期間中には創作過程の一般公開や京都市民を交えた演劇ワークショップなども同時に企画している。

活動 11 年目、全国展開へ向け京都の地でその一步を踏み出す PANCETTA の姿を見届けてほしい。



【主宰コメント】

楽しみにしていた企画がいよいよ始まります。作品がどうなるのか、まったく分かりません。一体我々は京都の地で、何を感じるのか。生み出す瞬間も、生まれたものが成長する瞬間も、作品とともに楽しんでいただけたら。ご注目ください。(PANCETTA 主宰・一宮周平)

——from TOKYO to KYOTO——

東から陽が昇る。太陽の光に街があたためられていく。現代的な街並みが広がる中に見え隠れする、かつての都の趣。見渡せば、ほど遠くなく山々が。

今どこにいるのだろう。

さっき曲がったはずの道と、似たような光景が広がる。通りにはそれぞれ名前がついているらしいが、覚えられていない。生活者と観光客を混ぜ合わせた乗客を乗せたバスが、数多く通り過ぎていく。西へと陽が落ちる。沈みゆく太陽を見送りながら、我々は作品を生み出す。この地で一体何が生まれるのだろう。

今日も今日とて、京都で。

■Phase 1 : CREATION (公開稽古)

脚本も何も用意せず、ゼロの状態からテーマを考え、フィールドワーク、創作を重ね、だんだんと作品の形になっていくその過程を公開します。

【日程】

2024年1月5日(金)~1月29日(月)

※稽古場の公開日時等、詳細につきましてはwebにてお知らせします。

<https://www.pancettapancetta.com/next>

【会場】

京都芸術センター

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2

tel/075-213-1000

■Phase 2 : PERFORMANCE (上演)

約1ヶ月の創作期間を経て出来上がった作品を、生演奏とともに上演いたします。

【日程】

2024年

2月1日(木)19:30

2月2日(金)19:30

2月3日(土)14:00○/19:00

2月4日(日)13:00

○…託児サービスあり

※受付開始 45 分前、開場は開演の 30 分前

【会場】

ロームシアター京都ノースホール
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町 13
tel/075-771-6051(代表)

【構成、演出】

一宮周平 (PANCETTA)

【出演者】

宇津木千穂／佐藤竜／新行内啓太／角谷良／林真子／一宮周平
音楽、ピアノ：加藤亜祐美
パーカッション：小田桐陽一

【スタッフ・協力】

舞台監督：中西隆雄
照明：黒太剛亮（黒猿）
制作：若旦那家康（コトリ会議）
デザイン：齋藤俊輔
撮影：中谷利明
企画、制作協力：竹井京子
PR：Chika

【チケット】

PANCETTA 予約フォーム（当日精算）
<https://www.quartet-online.net/ticket/lab2024kyoto>

全席自由・税込

前売：一般 3,000 円、U22 2,500 円

当日：一般 3,500 円、U22 2,500 円

※未就学児入場不可

※ユース（22歳以下チケット）は公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書（学生証、免許証等）をご提示ください。

チケット発売中

【チケット取扱窓口】

ロームシアター京都オンラインチケット
<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

ロームシアター京都チケットカウンター

[窓口・電話 TEL.075-746-3201（10:00～17:00、年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり）]

京都コンサートホールチケットカウンター

[窓口・電話 TEL.075-711-3231 (10:00～17:00、第1・3月曜休 ※祝日の場合は翌日)]

京都芸術センター

[事務所窓口 (10:00～ 18:00)]

【託児 (要事前予約)】

2月3日(土)14:00の回では、託児サービスがご利用いただけます。

詳細・お申し込みはロームシアター京都 WEB ページをご確認ください。

<https://rohmtheatrekyoto.jp/event/103778/>

【観劇サポート】

車椅子でご来場のお客様へ

本公演では車椅子席のご用意がございます。お申込につきましては下記までお問い合わせください。

ロームシアター京都チケットカウンター Tel. 075-746-3201

【問い合わせ】

Email pancettapancetta@yahoo.co.jp

HP pancettapancetta.com

【主催、企画、製作】

PANCETTA(パンチェッタ)

【共催】

ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、

京都芸術センター (公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市

令和5年度京都府文化芸術体験機会創出事業

2013 年設立。作品毎にクリエイションメンバーを集め上演している主宰・演出家の一宮周平によるパフォーマンスユニット。

クリエイションメンバーと共に、物事や場所や名前や物語がもつ要素を分解・再構築する創作手法をとる。創作過程の中でうまれる偶然性をもった一瞬を落とし込んだ脚本は、物事や物語へ作為的な力を加えずに新たな付加価値を与え、国内で数々の賞を受賞している。

また、再構築クリエイションの段階から音楽家や現代画家やアートディレクターとの相関的な創作を実施。様々な芸術分野での専門領域からの感性を組み込んだ演出スタイルは現代演劇の枠を超え、幅広い芸術分野から支持を受けている。

演出的な手法としてシンプルな舞台装置とつなぎの衣裳を採用。観客の視覚的な情報を可能な限り減らし、生演奏と光の効果により「ただそこに必死に生きている人」に目を向けさせる演出手法は、観客と作り手が時間と空間を共有することを可能にしている。共有した時間と空間からうまれる感情と向き合い想像力を広げることにより、観客主導で新たな視点がうまれる舞台の提供を目指している。



人間の身体を駆使し、表現の可能性を示唆するとともに、目の前の人や者や環境との「対話」を重視する創作手法をとっている。人間のもつ「おかしみ」に様々な角度から光をあてた「喜劇」を創作している。演者・鑑賞者がともに「喜劇」空間に同居することにより、観客が日常生活の中に「おかしみ」を発見するきっかけをクリエイションしている。

近年では、外部劇団の演出、一般市民向け演劇プログラムの脚本・演出、演劇を取り入れた社会人研修の監修、子供向けホテルにて朗読劇イベント演出、アートスペースにて客席を設けず移動式に観覧する公演、子ども向けの童話とクラシックのコンサートやワークショップなど、劇場内にとどまらず様々な空間での可能性を探求している。

-受賞歴-

2017 年：グリーンフェスタ 2017 BASE THEATER 賞(マグズサムズ「パパママ★サイバン」演出)

2018 年：第 9 回せんがわ劇場演劇コンクール グランプリ、オーディエンス賞、俳優賞

2019 年：若手演出家コンクール 2018 最優秀賞、観客賞

2020 年：第 6 回世田谷区芸術アワード“飛翔” 舞台芸術部門

2020 年：演劇人コンクール 2020 奨励賞

2023 年：2023 年度ロームシアター京都×京都芸術センターU35 創造支援プログラム“KIPPU” 選出

・過去公演（一部）

PANCETTA 14th performance “ゾウ”

——踏み出せ、その一步を——

大きなゾウを眺めていた。小さな憎悪を抱えていた。暑い日も、寒い日も、ちっとも動かず、立ち尽くしている。ずっと想像していた。あいつが一体、何を考えているのかを。

期間：2023年10月5日(木)～10月8日(日)

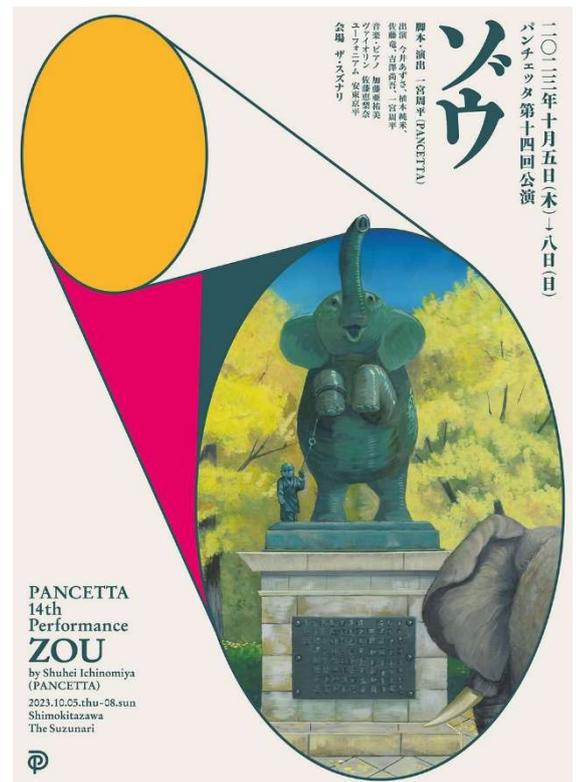
会場：ザ・スズナリ

出演：今井あずさ、植本純米、佐藤竜、吉澤尚吾、一宮周平

音楽・ピアノ：加藤亜祐美

ヴァイオリン：佐藤恵梨奈

ユーフォニアム：安東京平



スチール撮影 市川唯人

PANCETTA LAB 2022 spring & summer

——生まれるその瞬間を、見逃すな。——

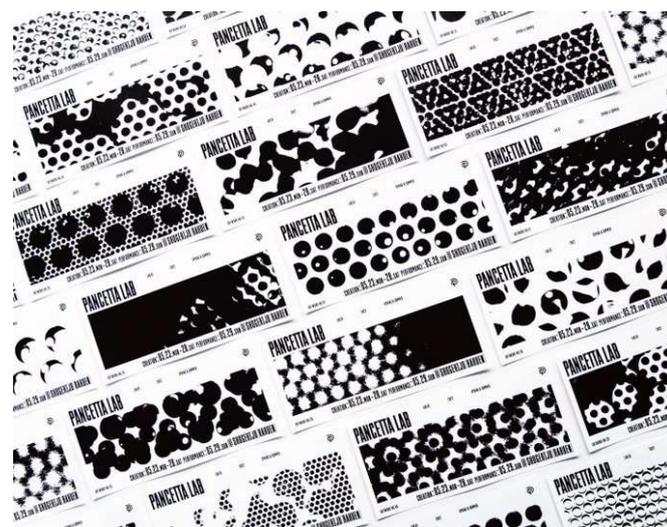
2022年、初夏。新作を創作。PANCETTA LAB（パンチェッタラボ）とは、2021年1月に立ち上げた、出会い、研究、実験を目的とした企画。本企画では、ゼロから創作過程を公開し、作品の立ち上がる過程を共に体験し、PANCETTA作品の新たな一面を発見してもらう企画である。脚本を用意せず、何も無いところから一週間で創作し、最終日に作品を上演する。生まれくる未知の作品は、最高傑作にも過去最低作にもなり得る。面白さとは一体何なのか、我々とともに大いに悩んでほしい。

期間：2022年5月23日（月）～29日（日）

会場：小劇場「楽園」

出演：佐藤竜、新行内啓太、瞳、一宮周平

音楽：小田桐陽一、加藤亜祐美



スチール撮影 市川唯人

[本件に関するお問合せ先]

PANCETTA PR 加賀野井 智香 Mail : pancettapancetta@yahoo.co.jp